

患者様およびその保護者の方へ

当科では鶏卵アレルギーの経過や検査結果について後方視的に調査を行っております。患者様のデータを用いて行いますが、患者個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究課題名	鶏卵アレルギー患者の卵白摂取における baked egg 使用の有用性に関する検討
研究責任者	国保中央病院小児科 中農昌子
研究目的	食物アレルギー診療において、安全な量を食べ続けることによって食べられる量が増えることを目指してアレルゲンを摂取する“食事指導”が治療として行われています。鶏卵アレルギー患者さんの卵白摂取では通常「ゆで卵白」を使用しますが、ゆで卵白は数か月すると患者さんが摂取を拒否して続けにくくなることがあります。拒否する理由は、好き嫌いや軽い口腔内症状（にがい、イガイガするなど）もしくは同じものを頻回に摂取させられることへの拒否感などが考えられます。そこでゆで卵白の代わりに「baked egg」という方法を用いられることがあり、生卵白を使用したホットケーキを使用します。乳幼児に好まれる味や食感であることや口腔内症状がおこりにくい（直接口腔内粘膜に触れないため）といった理由でゆで卵白よりも継続しやすいものの、ホットケーキを30分割するため正確に測ることが難しいといったデメリットがあります。そこで両者の安全性、効果を比較することにしました。
研究概要、対象となる患者さま	対象は、ゆで卵黄を摂取できるようになった後、 2018.1-2021.4 卵白開始した患者さん ゆで卵白と baked egg の食事指導を行った後、1年後の卵白摂取可能量を比較します。
本研究の適正性について	患者さんのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報公表されることは一切ありません。また得られたデータを本研究の目的以外に使用することはありません。なお、本研究は国保中央病院の倫理審査委員会で承認を受け行っており、調査期間は2022年4月30日まで、解析期間は2022年5月31日までです。情報は研究終了後5年間保存し、その後破棄します。研究の資金源等に関する利益相反はありません。また、解析結果は小児科、アレルギーに関する学会で発表させていただきますが、患者様の個人情報公表されることは一切ありませんのでご安心ください。本研究の詳細な資料を閲覧されたい方は下記までお問合せください。
研究への参加辞退をご希望の場合	この研究に関して新たに患者様にいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者様が診療の上で不利な扱いを受けることはありません。本研究について直接おたずねになりたい場合は、下記までお問合せください。 <p style="text-align: right;">2022年 1月</p> お問合せ先 ; 国保中央病院 小児科 研究責任者 ; 中農昌子 電話番号 ; 0744-32-8800